ChiKaRa

すずかけセントラル病院　広報誌　Vol.15

特集　ＮＳＴにおける歯科の役割

CONTENTS

顧客満足度調査について
お知らせ・イベント情報

表紙の人　すずかけセントラル病院　歯科
歯科医師　竹下　育男

夏場に多い食中毒について

食中毒は1年中発生しますが、梅雨の時期から9月頃までの高温多湿な時期には細菌の増殖が活発になるため、食中毒が発生しやすくなります。ここでは、この時期に発症が多い食中毒の原因・症状・対処法をご紹介します

◎主な原因菌（潜伏期間）

・サルモネラ菌（12～24時間）
加熱処理が行われていない食品、さしみ、食肉、卵などによくみられる

・カンピロバクター（2～7日）
加熱処理が行われていない食品、特に鶏肉に繁殖する

・黄色ブドウ球菌（1～6時間）
原因となる食品として、生菓子、弁当、おにぎりなどがあげられる

・腸管出血性大腸菌〈O157など〉（3～5日）
加熱処理が行われていない食品、特に食肉に認められることが多い

◎症状

・腹痛、下痢、吐き気、発熱など
・腸管出血性大腸菌食中毒では、水溶性の下痢、血便などが認められる

◎予防のポイント

・食材の購入・保存
消費期限を確認する。肉や魚は汁が漏れないように注意し、保冷して持ち帰り、帰宅後はすぐに冷蔵庫へ入れる。冷蔵庫や冷凍庫は詰めすぎない。

・調理
調理の前には石鹸等でしっかり手洗いを行う。ふきん・タオル類は常に清潔にしておく。野菜は流水できれいに洗う。生の肉や魚、卵をさわった後は丁寧に手を洗う。肉や魚は中まで充分に火を通す。後片付けに使ったスポンジは洗ってよく水切りをしておく。

・食事
食べる前に石鹸等でしっかり手洗いを行う。清潔な食器に料理を盛りつける。料理は長時間放置しない。消費期限を確認する。

INFORMATION 2

日経BPムック「頼りにしたいプレミアムドクターズ」

5月16日発行　「頼りにしたいプレミアムドクターズ」に当院より、鈴木一也院長、麦谷副院長、栗田医師、土屋医師が取材を受け掲載されました。

認知症ケアチームの研修修了

5月14日横浜大桟橋ホールにて「第1回看護師のための認知症ケア講座（日本慢性期医療協会主催）」が行われ、4人の看護師が参加してきました。

2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。認知症は誰もが身近な病気であり、超高齢社会を迎えた日本では、医療・介護の従事者はみな認知症ケアのプロでなければならない状況だということを改めて感じました。この研修を通して認知症を理解し、認知症の方と向き合い、多職種チームでよりよいケアを提供していきたいと思っています。

編集後記

夏の風物詩と言えば「スイカ」を思い浮かべる方も多いですよね。スイカには利尿作用があることがよく知られていますが、赤肉スイカの色素にはβカロチンとリコピンが含まれていて、がんや老化を予防する抗酸化作用があるとされています。良いからと言って、食べ過ぎには注意してくださいね。

すずかけセントラル病院
浜松市南区田尻町120－1
TEL：053-443-0111　FAX：053-443-0112
http://www.suzukake.or.jp
発行　すずかけセントラル病院　広報委員会
発行日　平成28年7月25日

NSTにおける歯科の役割

NSTとは

NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）とは、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士などの多職種が、それぞれの専門的な知識・技術を活かし、最良の方法で患者さんの栄養状態をサポートする医療チームです。

低栄養になると、体力、免疫力も低下するため、感染症などの発生頻度が高くなることから栄養管理が重要となります。

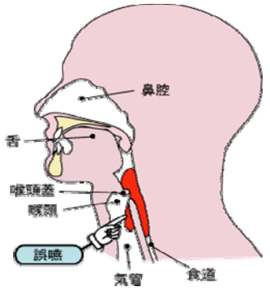
NSTは栄養評価、栄養管理のチェック、最適な栄養管理法の指導と提言、栄養管理に伴う合併症の予防、早期発見、治療の必要性の評価などの役割を担っています。

誤嚥性肺炎

口の中が汚れていると、肺炎（誤嚥性肺炎）やその他の感染症を引き起こす原因となります。

そもそも、「誤嚥」とはどのようなものなのでしょうか。

嚥下（飲み込み）時に食物や唾液、または嘔吐物など、本来は食道に入るべきものが誤って気管内に入ってしまうことです。飲み込む力が弱くなると誤嚥のリスクは増加します。



口の中には数多くの細菌が存在しています。そのような細菌が一緒に誤嚥され、肺の中で感染し、引き起こされるのが『誤嚥性肺炎』です。低栄養状態や免疫力の低下した状態にあると肺炎に罹りやすくなります。

歯科の役割

NSTにおける歯科の役割は、感染症予防のための口のケア、食事を満足に食べられるような口の環境整備をするなど、総合的な口腔管理を行うことです。口は、栄養の入り口であると同時に、様々な感染症の入り口でもあります。すなわち口の健康が全身の健康につながると言えます。

義歯の不具合を調整、修理し、口腔ケアを適切に行い、口腔周囲の筋肉のマッサージ等を行う事で経口摂取のできる口作りを促します。経口摂取が困難な場合でもそれらを適切に行う事で口の中の自浄作用が向上することが分っています。

体が健康なうちから口の環境をきちんと整備しておくことが大切です。

口から食事を摂取（経口摂取）できることは生きる喜びであり、健康への第一歩です。

口腔ケア後

口腔ケア前

歯科紹介

歯科のスタッフは歯科医師1名と歯科衛生士が4名で構成され、お口のトラブル、義歯の不具合、飲み込みに関する問題などに対応しております。お口のことや飲み込みのことなどでお困りの際は、お気軽にご相談ください。

筆者
竹下　育男
（歯科医師）

当院のＮＳＴ

当院では、毎週水曜日に回診及びカンファレンスを行い、患者さんの栄養状態を多角的に評価し、栄養障害の早期発見と適切な栄養療法の選択・開始に努めています。また、静脈栄養や経管栄養の患者さんに対して摂食・嚥下評価を行い、可能な限り経口栄養への移行を推進しています。

疾病の治療は様々ありますが、どの治療においても栄養管理は欠かせません。栄養管理をおろそかにすると、いかなる治療もその効力を発揮できず、逆に栄養障害に起因する様々な合併症が危惧されます。

ＮＳＴでは、栄養障害による治療効果の減退と合併症を防止し、患者さんのＱＯＬ向上に取り組んでいます。

顧客満足度調査

２０１２年11月に開院して以来、患者さんの満足度の向上を目的とし、毎年顧客満足度調査を実施してきました。

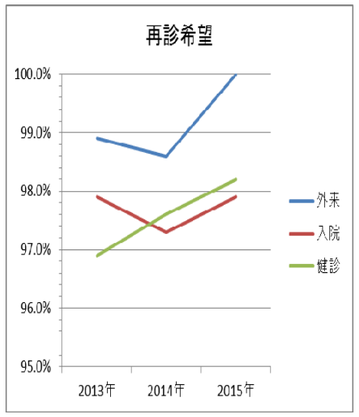
今回は外来を中心に、３年間の推移をまとめましたのでご報告いたします。

受診について、外来・入院・健診の３部門とも96％以上の再診希望がありました。

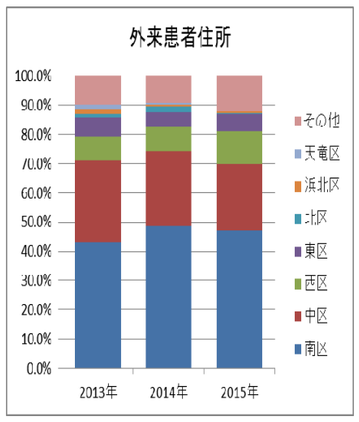
医師の対応は、９割以上の患者さんから満足と回答がありました。患者さんの利用が増えるなか、待ち時間が長くなる傾向が見られます。これに対しては問題点ととらえ業務の改善に取り組んでいきます。

来院される患者さんは、南区・中区・西区で約８割を占めています。その他、専門外来に遠方から受診される患者さんが１割程いらっしゃいました。

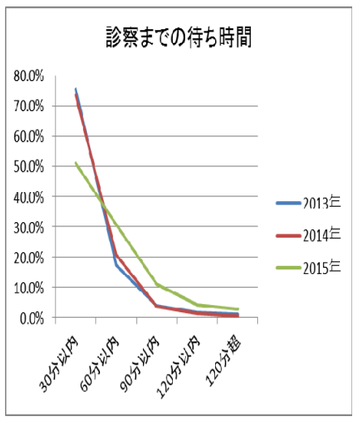
地域に根ざすとともに専門性を高め、今後も皆様が安心して医療を受けられる病院となるよう努力してまいります。



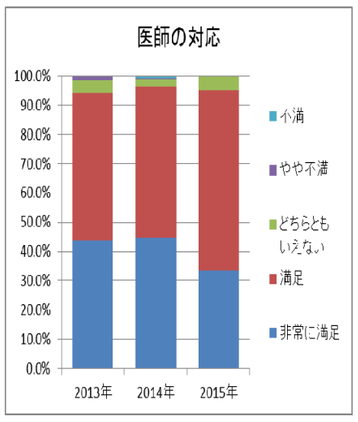
設問”今後もすずかけセントラル病院を利用したいと思いますか”より。



設問”お住まいの地域をお聞かせください”より。



設問”受付されてから診察（検査）までの待ち時間はどのくらいでしたか”より。



設問”医師の説明内容、相談対応等いかがでしたか”より。

INFORMATION 1

すずかけグループ　健康講座　開催

９月24日（土）クリエイト浜松において、「第11回すずかけグループ健康講座」を開催いたします。泌尿器科の栗田医師、放射線治療科の境野医師による講演となります。申込は８月１日より開始いたします。申し込みについての詳細は、053-443-1155まで

すずかけふれあい祭　開催決定

今年度の「すずかけふれあい祭」は10月30日（日）に開催いたします。

今年も多くの方に喜んで頂けるよう、健康チェックなど様々な企画を開催するために、スタッフが準備を進めております。ご期待下さい。

グランドゴルフ開催

５月27日（金）瓜内スポーツ広場にて「第３回すずかけセントラル病院杯争奪瓜内スポーツグランドゴルフ大会」が開催されました。

天候不順で当日まで開催が危ぶまれましたが、予定通り開催できました。みなさんの若さとパワーが溢れるプレーに圧倒されました。

今後も地域の皆様の健康増進活動に少しでも寄与できるよう、大会を継続していきます。